



世界に希望を生み出そう

2023～24 年度国際ローター・テーマ
RI 会長:ゴードンR.マッキナリー (スコットランド)

鹿屋西ロータークラブ週報
WEEKLY REPORT
NEWS
<http://www5.synapse.ne.jp/Kanoya24/>
ROTARY 第2084回



フリージア[あどけなき、純潔、親愛の情]

【観桜会】2024年4月7日(日)例会 15:30～ 例会終了後バーベキュー 於: 田崎みどりの広場
【グラウンドゴルフ大会】観桜会前に開催 場所: 鹿屋グラウンドゴルフ場 13:00 集合

2024年2月26日

◆会務報告

- 「第22回 RI 台湾囲碁大会」のご案内
- 第2730地区補助金審査会承認のご連絡
- 令和6年地域づくり交流事業実行委員会第2回例会のご案内
日時: 令和6年3月15日(金)12:00より
場所: ホテルこばやし
- クラブ会長の役割に備えるためのロータリーのラーニングセンターのコースについて
- RI 日本事務局財団室 NEWS 2024年3月号
- バギオだより 2024年3月号 vol.101
- 3月例会変更のお知らせ
[鹿屋 RC] 20日(水)祝日のため休会
[串良 RC] 11日(月)⇒10日(日)例会 8:30～
大崎町総合体育館(小学生バレーボール大会)
18日(月)祝日週につき休会
25日(月)ロータリー奉仕デー(移動例会)
12:30～東串良町農村環境改善センター
[きもつき RC] 12日(火)、19日(火)通常例会
*別途17日(日)ロータリー奉仕デー実施
11時～14時 岸良海岸清掃活動
[南九州大崎 RC] 14日(木)小学校へ花苗運動
池之原小学校(時間は後日連絡)
21日(木)祝日週のため休会
[志布志 RC] 5日(火)⇒3日(日)8:00～9:30
夏井海岸清掃(ロータリー奉仕デー)
12日(火)第2週目につき例会無し
19日(火)19:00～志布志湾大黒リゾートホテル

3RC 合同例会(串間・志布志みなと・志布志)

26日(火)観桜会 19時～志布志湾大黒リゾートホテル

[志布志みなと RC] 13日(水)⇒19日(火)19時～

3RC 合同例会(志布志・串間・志布志みなと)

志布志湾大黒リゾートホテル

20日(水)祝日につき休会



会長の時間

会長 前田数郎さん

皆さんお疲れ様です。

本日の会長卓話は、皆さん何度も聞き覚えのあるロータリー設立の経緯がウイキペディアに記載されましたので、私なりに解りやすく解説して行きたいと思います。



1905年、シカゴで商業道德の欠如の風潮を見かねたポール・ハリス(弁護士)と良くありますが、元々商業道德の欠如の風潮とはどんな事なのかチャット GPT で調べてみました。商業道德の欠如の風潮は、ビジネスや経済活動において倫理的な観点や社会的責任を無視した行動が増加している傾向を指します。

これにはいくつかの要因が関与しています

- 利益至上主義:一部の企業や個人が利益を追求することを唯一の目標とし、その達成のために倫理的な配慮や社会的責任を無視する傾向があります。
- 不正行為と腐敗:企業や個人が不正行為や汚職などの不正な手段を用いて利益を得ようとする場合があります。これは、しばしば法律違反や倫理的な観点から問題視されます。
- 環境への悪影響:環境への配慮や持続可能性を無


次回プログラム	
3月11日(月)	
卓話者: ゲスト: 田中久美子様	
担当委員会: 国際奉仕委員会	
3分間スピーチ: 松下真治さん	
出席報告	会員数 (42)44名
	出席数 34名
	出席率 80.95%

メイクアップ情報			
鹿屋	03月06日	(水)	ホテルこばやし
かのや東	03月07日	(木)	かのやクラブホテル
串良	03月04日	(月)	セントロ大隅 第1週:理事会(例会無) ⇒3日(日)夏井海岸 ロータリー奉仕デー
志布志	03月05日	(火)	高山温泉ドーム 第1週:理事会(例会無)
きもつき	03月05日	(木)	セントロランド 第1週:理事会(例会無)
南九州大崎	03月07日	(水)	大黒本店
志布志みなと	03月06日	(水)	大黒本店

鹿屋西ロータークラブ

会長: 前田数郎
副会長: 遠矢達一
幹事: 梅北健一

例会日 月曜日 12:30～13:30
例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212
事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp



視し、環境への悪影響を顧みないビジネス活動が見られることもあります。これは地球温暖化や生態系の破壊などの問題を引き起こす可能性があります。

4. 労働者の搾取:労働者の権利や福利厚生を無視し、労働者を不当に扱うビジネス行動も見られます。これには過度な労働時間や安全基準の無視、適切な給与の支払いの不履行などが含まれます。
5. 消費者への誤情報提供:商品やサービスの品質や効果に関する誤った情報を提供し、消費者を誤導する行為も商業道德の欠如と見なされます。

これらの問題は社会全体に影響を与え、信頼の喪失や法的な問題、環境破壊、社会的不平等などの深刻な社会問題を引き起こす可能性があります。そのため、ビジネスや個人が倫理的な態度を取り、社会的責任を果たすことが重要です。との事でした。当クラブのメンバーの皆さんには心当たりは無い事と思います。

ポール・ハリス(弁護士)が、友人のハイラム・ショーレー(洋服屋)、シルベスター・シール(石炭商)、ガスターバス・ローア(鉱山技師)とともに親睦と互助を目的として発足させた。初会合が行われた1905年2月23日が創立日とされ、同業者間では利害関係から親睦が阻害されるとしてメンバーは一業種から一人とされた。

3月9日に行われた2回目の会合で、ハリー・ラグルス(印刷業)、ウィリアム・ジェンセン(不動産業)、アルバート・ホワイト(楽器商)が加入し、個々の会員の事務所を持ち回りで会合を開くことと、会員は事業経営者(共同経営者)か会社役員に限ることになった。

3月23日の3回目の会合でチャールズ・ニュートン(保険業)、アーサー・アーヴィン(洗濯業)が加入し、会合を互いの事務所で行うことになり、名称を「ロータリークラブ」とし、役員も1年ごとのローテーションになった(初代会長にシルベスター・シールが就任)。その後、7回目以降、会合はホテルでの開催(昼食)となり、4回連続して休むと会員資格を失うルールになった。2001年の定款及び細則の改定により、一人一業種を廃止し(一業種からは人数5人または割合10%に変更)、例会出席規定も緩和された。

以上がロータリーの始まりだった様です。

言い出しっぺのポール・ハリス(弁護士)が初代会長で無かった事も驚きです。

続いて**日本でのロータリーのあゆみ**をお話します。

1920年、当時三井銀行の重役であった米山梅吉等が、東京府に日本初のロータリークラブ(RC)を、国際ロータリーから855番目に認証を受けて創立しています。

東京RC創立の経緯はつぎのとおりで、1918年に目賀田経済使節団の一員として訪米中の米山梅吉はダラスRC在籍の福島喜三と出会いロータリーについて聞いた。ロータリーの例会に出席した米山梅吉は、ロータリーの利己のない奉仕の精神と行動に強い共感を持ち、日本での

ロータリーの創立に動いた。元会員福島がロータリーの創立を希望していると知り、ダラスRCの会長は国際ロータリー会長に日本にロータリーの創立を勧める書簡を送った。このあと、国際ロータリーは直接福島喜三と日本におけるロータリーの創立に向けて交渉を重ね、1920年10月20日に創立総会が開催され1921年4月1日に承認が下りた。東京RCの創立にあたってダラスRCは国際ロータリーへの橋渡しを行ってくれたが、東京RCは国際ロータリー直轄のクラブであり、スポンサーがダラスRCという事実はない。承認状を見てもスポンサークラブの記載は無い。

日本で第2番目に認証を受けた大阪RCも国際ロータリー(RI)直轄で出来たクラブである。

ダラスRC会員であった福島喜三が帰国後大阪に赴任し、星野行則とともに1921年(大正10年)大阪にロータリークラブを作る1922年(大正11年)春、同年11月1日第一回の創立準備会を中之島大阪ホテルにて開催した。その後チャーターメンバーを選び、クラブ細則原案を作り、1922年(大正11年)11月17日に大阪RC創立総会を開いた。

関東大震災を契機として、日本のロータリー運動は本格的になっていくが、1924年(大正13年)7月に東京RCを立ち上げた米山が初代のスペシャル・コミッショナー(最高権限者)に任命される。

第2代が井坂孝(いさか たかし)「横浜海上火災保険(株)横浜興信銀行社長」、第3代が平生釧三郎(ひらお はちさぶろう)「川崎造船所社長・甲南病院設立」である。この3名の指導のもとに、次々とRCが日本の大都市に設立されていった。

東京・大阪に続いて、1924年(大正13年)8月に3番目の神戸RCが8月に設立される。スポンサークラブは大阪RCであった。続いて東京RCがスポンサーで、1924年12月に4番目の名古屋RCが設立される。更に東京・大阪両クラブの共同スポンサーによって5番目の京都RCが設立され、6番目に横浜RCが設立される。六大都市にロータリーが設立され、その後日本全国にRCが次々に拡大していったとの事です。

東京ロータリークラブ設立から遅れること57年後に我が鹿屋西ロータリークラブが鹿屋ロータリークラブ田中パストガバナーのお父様、田中千尋会長、我がクラブの中原浩一会員のお父様の中原平一郎幹事の元、ここ、さつき苑にて設立されています。

それから47年の歳月が過ぎ第47代会長として私、前田数郎が会長に就任していると言う今日この頃です。

以上で会長卓話とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。



3分間スピーチ

西丸晴彦さん

現在、外国人技能実習生の監理組合の事業に携わっていますが、私はこれまでにミャンマーに2回行って

います。

本日はミャンマーについてのお話をしたいと思います。

皆様方はミャンマーと聞くと「クーデターを行っている国」というイメージが強いのではないかと思います。

実際、私もミャンマーに行くという計画を立てた時は正直、危ない国なのではないかと考えたこともありました。しかし、首都のヤンゴンは、そのようなことは全くなく普通に人々が暮らしています。紛争を行っている地域はタイや中国の国境で行われているという事でした。しかし、夜間は12:00～5:00まで外出禁止です。

技能実習生の本来の目的は日本の技能、技術又は知識を開発途上国等への移転を図り、開発途上国等の経済発展を担う「人づくり」に協力することを目的としております。しかし、それは建前であってミャンマー人は仕事がないという理由で日本に来ます。フィリピンやベトナムは円安という事もあって、最近では日本には来ず、オーストラリアやカナダ、韓国に仕事に行っているようです。

ミャンマーも紛争で物価も上がっており、ミャンマー通貨(チャット)も現在は価値が下がっているため、円安の日本で仕事をしてても特に影響はないとの事でした。ミャンマー人に日本で行きたい場所とは質問をすると、富士山やディズニーランドはよく聞かれますが、東北など雪のある場所と答えることも多いです。食事に関しては寿司の生魚や刺身も食べることができる人もいますが、鹿児島島の鳥の刺身は誰も食べることができないとの事でした。

最後に、現在もミャンマー人と関わる中で、どうしてオーストラリアやカナダ、韓国ではなく日本に来たのかという質問を時々しますが、お金も大事ですが何よりも日本は「世界で一番安全な国です」と答えます。外国人から日本の感想を改めて聞くと日本は安全な国であり、また素晴らしい国であることを再認識させられました。



会員卓話

王谷英仁さん

2月は「平和と紛争予防・紛争解決月間」です。今日はこの話題について考えてみたいと思います。

ここ最近の紛争といえば先ずウクライナ戦争とパレスチナ戦争が報道されました。ロシアとウクライナ戦争につきましては以前に鶴丸さんが詳しく卓話をされました。いろいろな歴史背景はあるものの、結局は肥沃な土地の農作物やレアメタルなどの資源が目的である利益の為の戦いのようです。イスラエルと



パレスチナの戦争につきましては最近クローズアップされましたが、既に50年以上続く戦争です。こちらは民族と宗教に関わる戦いで根深いものがあるようです。戦争がおこる原因として宗教の違い、民族の違い、政権の不安定、大国の介入、そして資源の奪い合いの5つが挙げられています。

日本ではどうなのか考えてみましょう。

先ず宗教の違いにつきまして、日本人は比較的寛容だと感じます。様々な宗教がありますが、カルト集団でもない限り宗教は自由であるという考えが多くの日本人に根付いていると思います。

次に民族の違いに関しまして日本は島国であることや、長い鎖国政策があったことなどの理由で、諸外国に比べるとそんなに民族間の紛争がおこるほど多くの民族が居住している光景は目にしません。しかし都会に行きますと最近では頻繁に外国人労働者を見かけますので、今後この問題が出てくる可能性はあります。

ヨーロッパやアメリカなどの様に多くの人種が同じ地区で生活する場所においては戦争まではいかないものの、紛争が発生しているようです。その次の政権の不安定、これは社会情勢によってさまざまな変化があるのですが、クーデターを起こしてまで日本を支配しようなどと考えている政党があるとは思いませんし、また世界の批判を浴びる覚悟で日本を占領しようとする大国などあろうはずもないと思います。

最後の資源に関しましては日本では自国の資源の自給率自体が低いので全く戦争の対象にならないと思います。要するに日本には戦争がおこる要素が殆どないのです。しかしこんな考え方を平和ボケと揶揄する人もいるのは事実です。

では平和とは何でしょうか。

まずそのことについて考えていきたいと思います。Wikipediaによると、平和とは「戦争や暴力で社会が乱れていない状態」だそうです。単純に戦争や紛争がなければ平和だと言っても良いのでしょうか。

ヨハン・ガルトウングという社会学者がいます。

この方は平和学の父と呼ばれているのですが彼は平和を大きく二つに分けて解説しています。

まず一つ目は暴力や戦争がない状態を平和と定義する考え方、これを彼は消極的平和と名付けています。

こちらは多くの人が考えるであろう一般的な平和のイメージです。もう一つが共感を基にした協調と調和がある世界、こちらを積極的平和と呼んでいます。

この積極的平和の協調と調和は抽象的でその行動に当たっての目安がなく、どの程度まで到達すればよいのかをはかり知ることはできずやや難解です。私なりに考えたのですが、この協調と調和と聞いた時に子供時



代の日本を思い浮かべました。

小学生は皆ランドセルを背負い、中学男子は何の疑いもなく黒の詰襟で丸刈り、女子はセーラー服、「先生に言いつけるぞ」の一言でみんなお行儀良くなっていた頃の話です。良い例えではないかもしれませんが、平和だったと感じましたので、あれこそが協調であり調和じゃなかったのかと思います。

今の時代となっては個性が無く、面白味の無い鳥合の衆と言われるのでしょう。

このヨハン氏は平和に対抗する言葉として「戦争」ではなく「暴力」という言葉を挙げています。そしてその解釈のため暴力を3つに分類しています。まずは直接的暴力です。戦争や虐殺、家庭内暴力、喧嘩などの加害者と被害者がはっきりしている暴力の事を指しています。次に構造的暴力、こちらは貧困や飢餓、環境問題、搾取、差別などを指します。貧しい家庭に生まれ、終日食べ物を得る事に神経を使い、教育を受ける事や生活が向上する見込みも無く生きている人を、それはそこに生まれたのだから仕方ないで済ませられそうな事態の事を指します。この場合、加害者ははっきりしません。最後が文化的暴力、これは他者への不寛容、偏見、無関心などを指します。生活の習慣や考え方が違うためにそのことを毛嫌いして自分たちのグループから遠ざけてしまう事や、無視してしまう事を指します。

なかなか深刻な展開になってきました。彼の分類では我々が普通に生活していても、より貧困な人々の生活との間に格差があるならば、それは暴力の一つだと分類しているように聞こえます。また、歓楽街で飲み歩いてコロナに感染したり、泥酔して道端で寝てしまうのは自己責任だとか、「外国の人は日本に来た以上、自国ではどうだったとか言わずに日本のルールに従うべきだ、我々も外国に行けばそうしているのだから」といった考え方も文化的暴力の一つとなります。

話は変わりますが、皆さんは「スタートレック」というアメリカの映画をご存知ですか。エンタープライズ号という巨大な宇宙船が宇宙を旅するSF映画です。テレビシリーズも制作されてなかなか人気の番組でした。このシリーズの中のシーズン1、第23話は「コンピューター戦争」という物語です。ある惑星にエンタープライズ号が到着するとその星では他の惑星との戦争が激化しているというにもかかわらず、全く砲撃や爆破の音もしなければ破壊された建物も一切ない状態でした。そこでは相手の惑星との間でお互いにコンピューターにあらゆるデータを入力して戦争のシュミレーションを行っていたのです。コンピューターの計算に従ってお互いの惑星の損失と利益を相殺して戦争は進められます。そのコンピューターによって戦死と判断された人は、そ

れぞれの惑星において機械で分子レベルまで分解され抹消されるという設定です。これならばお互いの文化遺産の損失や環境の破壊は免れるというわけです。この合理的なシステムのおかげで、コンピューターに選ばれられない限り死の恐怖もなく平穏な生活を営めるため、この戦争は500年間続いているという設定でした。こんな形の平和を1960年代にSF作家が考えていたのだと思うとびっくりしますね。この話の落ちは、エンタープライズ号のカーク船長がその惑星のコンピューターを破壊します。そのために惑星間の戦争はシュミレーションからリアルな争いになり、やがてその愚かさに気づいた人々が和平への交渉に歩み出すというものでした。現在紛争中の国々の政府にこの話のDVDを送り付けてやりたいですね。

まとめてみましょう。戦争の原因が5つ挙げられました。宗教の違い、民族の違い、政権の不安定、大国の介入、資源の奪い合いです。また、平和学においては「戦争がなくなればいいな」と考えるだけでなく、協調と調和を目標とした積極的平和を目指すことも大事です。そのために我々ロータリーが行っていることは、米山奨学生を通じて日本の文化を知ってもらふ事、そして他国の文化を知る事です。相互理解が平和に近く道しるべになるでしょう。また、戦争体験のない若者に戦争を考えてもらう「平和の花束」活動はやがて戦争への抑止力になると思います。次に本当の平和とは戦争がないということだけではなく、構造的暴力や文化的暴力も無くさないといけません。貧困や環境のせいで学習するチャンス、就職への道がない人を「不公平だとは思うけど仕方ない」で済ませないようにしないと いけません。私たちロータリーの会員はきっとこの不公平の有利な側にいる人が殆どだと思います。自分の地位や財産は苦勞した末に得たものだから、とやかく言われる筋合いはないと思われるかもしれませんが。しかしロータリーの四つのテスト、この2番目は「みんなに公平か」です。もうすぐ紛争解決月間の2月が終わります。今日この話を面白いと思われた人はどうかもう1カ月延長して平和について考えてもらえると嬉しいです。



◆スマイル報告

(2件)

○遅れてしまいすみません。誕生日祝ありがとうございます。……………内田
○都合により早退いたします。……………中原
○本日の米山BOXスマイルは3,090円です。

累計(一般) 265,000円

(財団) 93,526円 (米山) 52,272円

***** ありがとうございます *****

週報担当：西ノ原